



つながろう！
おしなべてスマートな街に♡
LRT
宇都宮から世界へ!!
安藤 梢



**マイカーとトラム
使い分けを明確に**
ドイツのブンデスリーガ時代、安藤さんの住んでいた街にはトラム（路面電車）が走っていたと思いますが、何かエピソードがありますか。
初めて街なかのトラムを見た時、「ひかれたらたいへん」と思いました。チームから車が与えられて、私もトラムが通る街なかを運転しましたが、気がつくどトラムがすぐ後ろに迫ってきていて「ああ、どうしよう、どうしよう」と焦ったこともありましたが、でも車が軌道に乗っていても、ちゃんとトラムはぶつからずに止まってくれました。話によると日本のLRTの場合は、軌道の上は原則として自動車は通行できないこと

**乗ってる時間を有効活用
公共交通のメリット**
高校時代は自転車通学しながら勉強とサッカー部を両立させるなど、苦勞も多かったのではないですか。
周囲の同級生はだいたいバスで通っていましたが、私は40分かけて自転車で通いました。授業を終えて、サッカーの練習をして、その後自転車ではあーっと帰宅していました。でもLRTがあったら、きっとLRTで通ったでしょうね。乗っている間も参考書読んだり、もつと時間を有効に使えたかもしれない。その辺が公共交通機関のメリットのひとつだと思います。座席数も多く、広くて静かなLRTならば、なおさらメリットも大きいと思います。

宇都宮市は、公共交通にLRTが加わることで、バスなどの他の交通手段も便利になり、もっと活力のあるまちへと変わります。宇都宮出身の女子サッカー選手安藤梢さんに海外でのLRTに関するエピソードや、宇都宮の未来への期待について話を聞きました。

「さまざまな人々が、より快適に暮らせる街」 そんな街にLRTが導いてくれると思う

**スマートで格好良く
宇都宮の未来に期待**
故郷・宇都宮にもLRT整備が予定されていますが、どんな街になることを望みますか。
地方都市はどうしても、車がないと生活できない環境にあつて、交通渋滞もどこか当たり前になっていきます。でもこのLRTの整備が、公共交通機関を見直す契機になるのではないかと考えます。車を運転できない高齢者や、障がいのある方、小さいお子さん連れの方など、さまざまな人々が共存し、快適に暮らせる便利な街にLRTが導いてくれるのではないのでしょうか。新しい施設を整備し、今まで以上にスマートで格好いい宇都宮の街に生まれ変わってほしいですね。私も、月に1、2度は宇都宮に帰りますが、開通したらぜひ乗ってみたいと思います。

なっているようで、その辺は、日本の方がより安全ですよ。
ドイツでは、きれいな街並みとトラムが自然に溶け込んでいた感じがします。私が住んでいた場所の近くにも歩いて行ける距離にトラムの停留場があつて、すごく便利でした。フランクフルトなどもけっこう街なかを縦横無尽にトラムが通っていました。だから、街なかでプライベートな買い物の時はトラムを使つて、郊外の練習場に行くときは自動車と、明確に使い分けていました。街なかの交通渋滞もなければ、トラムと自動車の事故も見掛けたことはなかったです。それから、トラムに自転車のままで乗ってくる人や、ペット同伴で乗る方など、どんな人でもごく自然にトラムを利用していたのが印象的でした。



なでしこリーグ
浦和レッドダイヤモンズ・レディース
安藤 梢 選手

1982年7月9日、宇都宮市生まれ。宇都宮女子高校、筑波大学院卒。2011年の女子W杯サッカーでなでしこジャパンのメンバーとして優勝に貢献。2009年から16年までドイツのブンデスリーガで活躍し、今年6月に帰国し、古巣の浦和レッズに入団した。

ドイツでは、きれいな街並みに
ごく自然にトラムが溶け込んでいました